

大阪中央郵便局舎をもっと良く知ろう！

いま、大阪中央郵便局が、東京中央郵便局とともに話題になっています。先日、郵便局へ行くと、もうすぐこの建物での営業は終わりますと云われ、愕然としました。

大阪中央郵便局舎の保存問題は、すでに専門家の間では盛んな活動がありました。私たちは、大阪駅前にある中央郵便局に慣れ親しんできたために、本当のところ私たちはその価値に気がつかずに過ごしてきました。しかもそれ以前の近代建築にある様式に比べ、非常に近代的な建物であり、ほとんど古さを感じさせないため、私たちは建物の価値を見失っていたようです。いま、私たちはこの建物をもっと知らなければなりません。

今回のシンポジウムは、建築をよく知る機会とし、大阪の玄関を飾る建物としてどのように守り続けられればよいのかを考えます。専門家の解説と考えを聞き、実際に建物を見学し、もっとよく郵便局舎を理解したいと思います。郵便局が民営化されたからと云って、街の景観をかえてよいと云う理由があるのでしょうか。私たちは街の景観を作っている建物は公共財産と考えます。みなさんと一緒にこの問題を考えてみませんか。



日 時：平成 21(2009)年 3 月 26 日(木) 18:00~20:00 (17:30 受付開始)
会 場：大阪市立大学文化交流センター 大阪駅前第 2 ビル 6 階 (06-6344-5425)
参加方法：当日自由参加
問い合わせ：post-culturalosaka09@hotmail.com

講演と報告

- ・中央郵便局保存の意義 橋本健治 (神戸大学、立命館大学非常勤講師、JIA近畿支部保存再生部会長)
- ・中央郵便局の建物について 橋寺知子 (関西大学准教授、近代建築史)
- ・東京中央郵便局の現況 南 一誠 (芝浦工業大学教授、日本建築学会総務理事)
- ・会の設立と経過 長山雅一 (流通科学大学教授、日本考古学、歴史学)

大阪中央郵便局を重要文化財にする会